

法然上人行狀絵図

遊女申さく上人の御船のよしうけたま
はりて推参し侍なり世をわたる道まち
くなりいかなるつみありてかかゝる
身となり侍らむこの罪業おもき身いか
にしてかのちの世たすかり候べきと申
ければ 上人あはれみでの給はくげに
もさやうにて世をわたり給らん罪障ま
ことにかろからざれば 酬報またはかり
がたしもしかゝらずして世をわたり給
ぬべきはかりごとあらばすみやかにそ
のわざをすて給べしもし余のはかりご
ともなく又身命をかへりみざるほどの
道心いまだおこりたまはずばただその
まゝにてもはら念仏すべし弥陀如来は
さやうなる罪人のためにこそ弘誓をも
たてたまへる事にて侍れたゞ心かく本
願をたのみてあへて卑下する事なかれ

南無阿弥陀仏

為

令和 年 月 日

淨写